

2022-23 年度RI 会長 シェンファー・ジョーンズ (カナダ: ウィンザー・ローズランドRC) 第2820地区ガバナー大野治夫 (つくば学園RC)

国際ロータリー 第2820地区(茨城) 第1分区 日立港ロータリークラブ週報



202. 2. 2  
第 2041 回例会

会長 山口憲生 会長R/ト 鈴木崇久 幹事 佐藤泰子

- 事務局 日立市大みか町 2-28-5 渚会館 TEL 0294-53-6411
- 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
- 例会場 美かの 日立市大みか町 6-14-12



2月は平和構築と/ 紛争予防月間です

会長挨拶 山口憲生 会長



去る 1 月 28 日 (土) の第 1 分区 IM は残念ながら懇親会なしの講演会及び質疑の会合となりましたが、皆さんに出席いただきありがとうございました。詳細は会報に掲載しましたので参照ください。参加して改めて考えたのは「平和」です。国際ロータリーが、重点項目の最初に掲げているのが「平和の推進」なのです。これを受けて 2 月は「平和構築と紛争予防月間」となっています。日頃身近にあるロータリー活動は、社会奉仕や青少年奉仕、国際奉仕などの奉仕活動ですので、「平和推進」と言われても、遠い世界の、間接的、抽象的な事柄ばかりと感じていたのが正直なところでした。しかし、昨年 1 月の IM で「国境なき医師団」を取り上げ、その直後にロシアのウクライナ侵攻が始まり、茨城キリスト教学園への留学生も避難民同様となり、インターアクトクラブ年次大会が同学園で開かれ、茨城キリスト教大学講師のウクライナ出身ジャコブ・ユリアさんから直接実情をお話いただき、第 2820 地区として同国に被災者の仮設住宅を寄付するなどの支援を行い、その関係映像が現地の地区・ロータリークラブから送られ、これを IM 会場で見ている。なんと身近な展開ではありませんか。

国際ロータリーは 1945 年成立の国際連合の同憲章の草案作りに委員を派遣していたくらいですから「平和」を重点テーマとしていたことは知識として確かなことでしたが、この頃の動きはそれがまさに「本当なんだ」と、姿を現したと感じている幸いです。このことを述べて会長挨拶とします。

例会報告

- 開会点鐘 山口憲生 会長
- 国歌斉唱 「君が代」
- R ソング 「奉仕の理想」
- 唱和 「四つのテスト」

本日のビジター紹介 今野紀仁 親睦活動委員長

本日はいらっしやいません。

今月の結婚祝い 今野紀仁 親睦活動委員長

岩田秀邦さん (18 日)

出席報告 山口彰二 SAA

会員数	出席数	出席率
35	25	75.76%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
4(本日出席2名)	8	100.0%

本日の食事メニュー：弁当

にこにこBOX 報告 山口彰二 SAA

【ご芳志を頂いた方からのコメント】

- 菅原光雄さん…久しぶりの例会出席です。1 月で 69 歳となりました。健康で過ごしたいと思います。今後ともよろしくお願ひします。(1 月誕生祝い)
- 松橋好徳さん…遂に還暦を迎えてしまいました。健康に留意して日々を過ごしたいと思ひます。(1 月誕生祝い)

目標 1,266,000 円  
人頭分担金 378,000 円  
本日のご芳志 21,000 円  
トータル 1,000,700 円

幹事報告

佐藤泰子 幹事

【受信書簡・メール】

- ・2022-23 年度ライラセミナーのご案内
- ・RI 第 2820 地区 地区大会記念ゴルフ大会ご案内
- ・2021-22 年度ロータリー賞 (第 2820 地区) の授与
- ・茨城海岸美化プロジェクトの実施 3月5日(日) 久慈浜海水浴場
- ・ロータリー希望の風奨学生と語る会のご案内
- ・月信 2月号
- ・ザ・ロータリアン 2月号
- ・令和4年度親善・友好都市交流事業に関する調査依頼
- ・日立スポーツ協会設立30周年記念事業特別講演のご案内

第 8 回理事会報告

【審議事項】

- 1.1 月度出席率 100.0%
- 2.例会プログラムの変更
- 3.IT 委員会設置について (第 7 回理事会から継続)
- 4.2022-23 年度中間期特別委員会設置について (第 7 回理事会から継続)

【審議結果】

- 1 月度出席率 100.0% : 了承  
 会員数 (免除除く) (M=メイクアップ)  
 1/12 34 名、出席 18 名 M16 名、出席率 100%  
 1/19 33 名、出席 24 名 M9 名、出席率 100%  
 1/26 32 名、出席 20 名 M12 名、出席率 100%  
 1/28 33 名、出席 18 名 M15 名、出席率 100%
- 2.例会プログラムの変更 : 了承  
 2/2 外部卓話 瀧田薫様→会員卓話 菅原光雄さんに変更  
 2/9 「私と RC」藤田博会員中止→当日は会員卓話のみとする。  
 2/16 夜間例会 会員一言卓話 菅原光雄→「会長の時間」とする。  
 3/2 (木) 外部卓話 日立市企業局上下水道部依頼中  
 3.IT 委員会設置について : 4.の通り。  
 4.2022-23 年度中間期特別委員会設置について  
 ●IT 委員会：承認。ただし今期は特別委員会とし会長招集で行う。来期以降は委員会構成外での常設の委員会とする。  
 ●会員増強特別委員会：承認。ただし若手候補発掘の為委員を追加する (小泉委員長から選任)。また来期以降は特定の会員を委員としての指名もする。  
 ●以上早めに会長通知で指名し、第 1 回会議を Zoom 等で開催する。

その他報告

- ◆ライラセミナー開催  
 3月11日(土)~12日(日) つくば市豊里ゆかりの森 1名参加費 15000円  
 出席対象 長期交換派遣生茨城キリスト教学園高校 渡邊友仁さん、インターアクトクラブ参加なし。 茨

城県北ローターアクトクラブ (小泉世話クラブ委員確認) 当クラブから、山口彰二青少年奉仕委員長、太田地区委員出席。

- 茨城海岸美化プロジェクト開催日変更  
 3/4 (土) → 3/5 (日) 詳細後日
- 第 21 回日立港 RC 杯中学校野球大会  
 会員は 2月26日(日)のみ参加。  
 野球場 7:30 集合。  
 開会式は 2月26日に行う。(8:00~)  
 (注) 25日、26日、予備 3月4日(土)のそれぞれの雨天順延等は臨機に対応する。

委員会報告

【青少年奉仕委員会 小泉浩一 副委員長】

2月25日(土)~26日(日)にかけて日立港 RC 杯第 21 回中学校野球大会を開催します。25日の会場は久慈・泉丘中学校グラウンド、26日は日立市民運動公園野球場です。ロータリアンは 26 日だけの参加となります。開会式・閉会式・弁当の有無を事務局あて連絡ください。応援よろしくお願ひします。

本日のプログラム

会員卓話

菅原光雄さん

『ふるさと紹介』

私のロータリー歴

- ・ 2013年1月10日 入会 親睦活動(委)
- ・ 2014年~2015年度 社会奉仕(長) IA(副)
- ・ 2015年~2016年度 SAA(長) IA(副)
- ・ 2016年~2017年度 SAA(長) 副幹事
- ・ 2017年~2018年度 会長エレクト 会員組織(長)
- ・ 2018年~2019年度 会長
- ・ 2019年~2020年度 IA(長) 奉仕プロジェ(長) 地区IA(委)
- ・ 2020年~2021年度 IA(長) SAA(副) 地区IA(委)
- ・ 2021年~2022年度 幹事 IA(委) 地区IA(長)
- ・ 2022年~2023年度 情報・広報(副) IA(副) 米山(委)





福島県中通り北部、伊達郡にある町。1889年（明治22）町制施行。町の中央部をJR東北本線、国道4号、東北自動車道がほぼ並行して走る。

中世は伊達氏、江戸時代は米沢（よねざわ）藩や幕府の支配を受け、幕府の代官所も置かれ、また奥州街道の宿駅であった。幕府直営の半田銀山は最盛時には石見（島根）、生野（兵庫）と並ぶ産出量を示した。養蚕が盛んであったが衰退し、近年では米作のほか、モモなどの果樹栽培が盛ん。国の重要文化財指定を受けた旧郡役所も復原された。伊達氏ゆかりの西山城跡は国指定史跡。北部に半田山自然公園がある。面積42.97平方キロメートル、2015.05.01現在、人口1万2412人（男5920女6492）4555世帯数。町の木：カヤ、アカマツ。町の花：モモ。

### 桑折の名称の由来

“桑折”の名称が歴史に登場したのは奈良・平安時代（8～12世紀）にまでさかのぼります。東山道に駅家（うまや）が設置され、郡家（こおりや（ぐうけ））がおかれ、これを語源に“こおり”となり、“桑折”の字が当てられたとみられています。

### 仙台藩伊達氏発祥の地

桑折町は、仙台藩伊達氏発祥の地として知られています。市街地の西方の通称高館山に位置する桑折西山城跡は戦国時代、伊達家の居城でした。桑折西山城跡には、緑豊かな木々の中に土塁、空堀などの遺構が見られ、平成2年（1990年）には国の史跡に指定されています。

### 古くからの交通の要衝

桑折宿は、かつての奥州街道と羽州街道の分岐点で、追分の宿場町として栄えました。二つの主要街道が通り、半田銀山や阿武隈川舟運の桑折河岸などもあったことから人や物資の動きも活発でした。旧街道時代の桑折は、西町から本陣があった本町、そして北町にかけて宿場の街並みをなし、通りの真ん中を用水が流れていました。現在でも、土蔵、なまこ堀など昔ながらの街並みもみられます。日本三大鉱山といわれた幕府直営の半田銀山



江戸期に幕府直営の御直山として経営された半田銀山は、日本三大鉱山といわれ、幕府の財政を大きく支えました。

その後、明治、大正、昭和と操業を続け、これによって町の中心部にもにぎわいをみせましたが、昭和25年、長い歴史に終止符が打たれました。

### 伊達の政治・経済の中心

貞享2年（1685年）、幕府直轄の代官所として、陣屋が設置されました。その後、明治16年に伊達郡役所（擬洋風建築・昭和52年に国の重要文化財に指定）が設置されるなど、伊達の政治・経済の中心として発展し、昭和44年までは福島県の伊達地方事務所が置かれ、地方行政の中心でした。

### 養蚕業で発展

桑折町は、町名に「桑」の字が付されている程度で、養蚕業との縁は深いものでした。幕末の頃から福島盆地に位置する伊達郡では養蚕が盛んとなり、明治期には「福島県蚕業取締所桑折支所」が設置されました。その後、郡製糸桑折工場（後に福島蚕糸販売農業協同組合連合会の工場）や小国蚕糸興業株式会社などが立地しましたが、時代の変化に伴って工場は全て閉鎖されました。

### 現在の桑折町

昭和30年、町村合併促進法に基づいて旧桑折町、睦合村、伊達崎村、半田村の4町村が合併して現在の“桑折町”が誕生し、平成17年1月1日に町政施行50周年を迎えました。平成23年3月の東日本大震災では、桑折町においても震度6弱の激しい揺れに襲われ、数多くの建物の損壊、道路や下水道などの公共施設の損壊など、甚大な被害を受けました。

・ ・ 福島第一原発との位置関係



原発から約 70 キロメートルに位置しています。除染が行われ、浪江町からの避難者を受け入れています。

・ ・ 伊達政宗のルーツ

伊達氏は「伊達」を名乗る以前は「中村氏または「伊佐氏」名乗っていました。

よって、源流の地も 2 つの説があります。

1. 下野國中村荘で現在の栃木県真岡市。
2. 常陸国伊佐壯で現在の茨城県下館市。

初代「伊達朝宗」の墓所といわれています。周囲から源頼朝から使用が許されたとみられる瓦が出土しており、伊達氏発祥の地を明確に示しています。現在、自然石による墓と、文政四年(1821)仙台藩主伊達斉(なり)義(よし)が建立した五輪塔があります。

・ ・ 諏訪神社御柱祭

1993(H5)年に 800 年祭を迎えた記念に、信州・諏訪大社の「御柱祭」にならって実施され、6 年ごとに実施されています。諏訪大社では、四本の御柱が立っていますが、こちらでは二本。東北では、宮城県白石市越河と、桑折町の 2 ヶ所で諏訪大社と同じ寅年と申年に開催されています。

・ ・ 桑折西山城

十四代植宗が築城。東西 0.8 キロメートル、南北 1.5 キロメートルの規模を有する複郭式平山城であり、産ヶ沢川が天然の外堀となり、城を囲んでいます。現在の桑折町の中心部のすぐ西側の小高い山(標高 193 ㍎)の上にあり、まちなみや阿武隈方面が見渡すことのできる格好の場所に位置していました。171 条からなる「塵芥集(じんかいしゅう)」を制定し、政の基本とした。これが当時の諸国の国分法の範となったといわれています。

例 届出なしの処罰禁止(私征伐の禁止)

・ ・ 万正寺の大カヤ

日本有数のカヤの巨木。根元からは、鎌倉時代の陶器などが出土しました。

・ ・ 半田银山



奥州街道と羽州街道の分岐点で、追分の宿場町として栄えました。桑折町で奥州街道から分岐し、出羽の主要地を結んで青森に至る。秋田街道。おおむね国道 13 号と 7 号に相当。

・ ・ 無能寺 御蔭松



良然により創建当初(1596)は大光山正徳寺と称していましたが、江戸中期に高僧として名高い無能(1683~1719)が現れ、その弟子不能の師の徳をあげて寺号を改めて再興した寺。浄土宗奥州地方の中心的寺院。境内にある松は、明治天皇が東北巡幸の際に命名。推定樹齢 450 年。樹高 6 ㍎、根回り 5 ㍎、枝張 1 6 ㍎。県天然記念物。

・ ・ 旧伊達郡役所



隣町保原にあった郡役所は老朽化が著しく、当時の福島県令三島通(みしまみち)庸(つね)は保原町に改修費の寄附を求めたものの、費用は集まりませんでした。そこで、桑折の篤志家(貴族院議員である三代角田林兵衛ほか)が郡役所の誘致に尽力し、明治16年4月(1883)に郡役所を桑折に移転させることが決まったのです。大正15年(1926)に郡役所が廃止になるまでの約43年間、郡行政の中心として活躍しました。

・・三元車

日本最古の自転車である「三元車」は、初代鈴木三元の手により桑折町で生まれました。この三元車を街づくりに活かそうという機運が高まり、町内外からの募金と町内の鉄工・木工技術者の志によって、ついに念願の三元車が復元されました。2009(H21)年「三元車」展が旧伊達郡役所で開催され、復元された三元車とともに、トヨタテクノミュージアム産業技術記念館に保管されている三元車が里帰りを果たしました。

・・桑折寺



県の重要文化財「桑折寺山門」は、西山城内にあった門を移築したものと伝えられています。

・・大安寺



桑折藩主松平忠恒が寄進した梵鐘があります。

・・リンゴ「王林」の原木



桑折生まれの王林は「印度」「ゴールデンデリシャス」の交配種で、1950(S25)年に命名されました。国や県などの公共研究所ではなく、個人(伊達崎の大槻只之助)が独力で育成した日本を代表する青リンゴです。

・・特産品

招福こけし、プレミアムピーチ(桃)、リンゴ(王林、ふじ)、大野屋のあんぱんほか

・・ピワハヤヒデ生誕の地



中央競馬史において、ピワハヤヒデは1988年の年度代表馬タマモクロスから始まり、オグリキヤップ、メジロマックイーンと続いた「芦(あし)毛(げ)の王者」の系譜に連なるとされ、その引退により「芦(あし)毛(げ)の時代」終わりを迎えたと称された。通算16戦10勝。デビュー以来の15戦連続連対(2着以内)はシンザンに次ぐ中央競馬史上第2位の記録です。

今週の会場の花

“ 菊 ”

花言葉：甘い夢



閉会点鐘 山口憲生 会長

2023. 1. 28  
**日立港ロータリークラブ**  
 第 2040 回例会

例会報告

出席報告 **山口彰二 SAA**

会員数	出席数	出席率
35	17	53.13%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
4(本日出席 1 名)	15	100.0%

2022-23 年度 第 1 分区 I.M.報告

2022-23 年度当地区インターシティミーティングは 1 月 28 日 (土)、第 1 分区を皮切りに始まった。日立中央 RC をホストに、分区 170 名、当クラブから 18 名の参加での開催だったが、新型コロナ感染第 8 波の懸念から懇親会は急遽中止となり、メインテーマ「世界平和を考える」サブ「ウクライナの現状とロータリー活動」として 2 つの講演・質疑が行われた。

まず茨城キリスト教大学講師ジャブコ・ユリア先生 (ウクライナ出身) からウクライナの現状、ロシア侵攻に至る経緯とその違法性他の報告・説明を聴き、ついで新井和雄直前ガバナー (IM リーダー) から当地区を中心とする日本の各地区からウクライナのロータリアンへの支援と現地のロータリー活動 (例: 仮設住宅建設) の状況を、先方から届けられた映像を中心に報告がなされると、会場は緊張と静寂に包まれた。

国際ロータリー活動の最初に掲げられているのが「平和の推進」です。昨年の IM (当クラブホスト。鈴木稔ガバナー補佐) での「国境なき医師団に学ぶ」、今年度インターアクトクラブ年次大会 (8 月。ホスト: 茨城キリスト教学園高校 IAC) でのテーマ「世界の平和は私たちから」の講演と討論、当クラブ・当地区のウクライナ支援金の拠出、等々、今も続く紛争をいかに考え、対処するか、この IM を通して認識を深くしたひと時であった。最後に藤居パストガバナー (日立 RC) が自らの体験 (終戦時 5 歳) と現状を踏まえ感じられる不気味な不安を訴える総評をもって会合を終えた。

来年のガバナー補佐は日立南 RC の鹿志村孝道

会員であり、再来年のガバナーは高萩 RC の大高司郎会員である。その支援を約束し散会した。

なお、会合最後の時間をいただき当クラブ山口会長から、23-24 年度青少年交換長期派遣での派遣・受入生を紹介し分区の支援をお願いした。ロータリー活動が単独から広域化する例でもあるし、一方、こうした国際交流も将来につながる平和活動だろうと思われる。(会長山口記)



日立港ロータリークラブ

2023. 1. 26  
第 2039 回例会

会長挨拶

山口憲生 会長



今日は、先回引き続き各委員会事業活動の中間報告を行います。第 2820 地区も研修やセミナー、IM その他の行事の時期です。この 1 週間間に私も 2 つの集いに参加しましたので報告します。まずポール・ハリス・ソサイエティ会員顕彰の集いです。詳しくは会報に記載しましたので参照ください。新たな認識は、その会員が急速に増加し現在 100 名を超え、第 1 分区での各クラブからも多数の会員が生まれていることです。当クラブは 0 人で、毎年 1000 ドルの財団寄付の約束は決して容易ではなく、強制するようなものではありませんが、かなりの会員増を認識すべきかと思えます。なお、パーティーのオープニングはミス・スプラナショナル・ジャパンの塙麻由子さんの歌唱で、この女性は下館ロータリーアクトクラブ会員で、職業は保育士だということで、これも新知識ですね。

もう一つは職業奉仕セミナーで、木村職業奉仕委員長と出席しました。詳細は別途報告があると思いますが、いわば職業倫理、ロータリーの奉仕の理念、四つのテストを具体的に学んだ感じがします。研修内容は「日本でいちばん大切にしたい会社」1~8 (講師坂本光司元教授の著書) の紹介と、その中の会社「徳武産業」代取会長の講演ですが、同社は縫製下請けから介護シューズを主製品として高シェアを獲得してします。その事業軸に存在する確かな企業理念・倫理を話されました。大企業での組織人としての仕事が主だった小生にしては到底体験しえない話ですが、奉仕の本質を示された思いです。こうした倫理・道徳の追及こそロータリーの使命ではないでしょうか。

例会報告

開会点鐘 山口憲生 会長  
R ソング 「我らの生業」

本日のビジター紹介 今野紀仁 親睦活動委員長

本日はいらっしやいません。

出席報告

山口彰二 SAA

会員数	出席数	出席率
35	20	62.5%
出席免除者数	前回訂正	合計出席率
4(本日出席 2 名)	13	100.0%

本日の食事メニュー：赤魚煮つけ

にこにこ BOX 報告

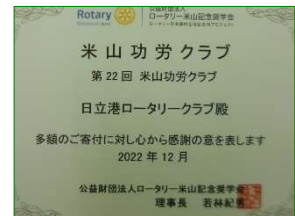
山口彰二 SAA

【ご芳志を頂いた方からのコメント】

- ゴルフ同好会…クリスマス、新年コンペの馬券収入の一部です。次回は観桜会コンペ (4 月 6 日) の予定です。よろしくお祈いします。

米山功労クラブ感謝状の贈呈

米山記念奨学会から第 22 回米山功労クラブとして感謝状を贈られた。



幹事報告

佐藤泰子 幹事

【受信書簡・メール】

- ・ 2022-23 年度第 1 分区 IM プログラム変更のお知らせ
- ・ 2022 年度米山奨学生終了式開催のご案内

本日のプログラム

私と RC

古川英希さん

『ロータリー米山記念奨学事業』



2022-23 年度、米山記念奨学会委員長の古川です。本日の『私とロータリー』はロータリー米山記念奨学事業についてお話しさせていただきます。この事業は、日本のロータリー全地区による国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することにより、将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することを事業の使命としています。これは、ロータリーの目指す”平和と国際理解の推進”といえます。そしてこの事業の特徴である、外国人留学生支援するのは、1952 年、東京ロータリーク

ラブ発表した「米山基金」に始まります。

日本のロータリークラブの創始者である故・米山梅吉氏の生前の功績を称え、後世まで残るような有益な事業を行いたいと、東京 RC が設立した、海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業です。その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、“平和日本”を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという、戦後のロータリアンたちの強い願いがあったそうです。

もう一つの特徴は、ロータリークラブ、ロータリアンとの交流を重視しているいわゆる『世話クラブ・カウンセラー制度』です。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会に出席し、会員との交流により日本の社会を知り、ロータリーの奉仕の精神について学びます。奨学生一人ひとりに地区内のロータリークラブが「世話クラブ」となり、世話クラブの会員が「カウンセラー」となり日常の相談役をつとめ、奨学期間中、奨学生は世話クラブより奨学金を受け取り、交流をします。また、この事業は民間最大の国際奨学事業であり、2022年度の奨学生数は898人、事業費は14億5千万円。これまでの累計奨学生数は22,875人、その出身国は世界129の国と地域に及びます。事業費はほぼロータリアンからの寄付金収入であり、2021-22年度は約13億5千万円、個人平均寄付額は15,971円、特別寄付者割合は46.4%となっています。

日立港 RC でこれまで受け入れた米山奨学生数は2022-23年度受け入れている、ハニフさんを含め15人になります。2010年を最後に約10年間、世話クラブとしての奨学生の受け入れはありませんでしたが、2020年より3年連続で世話クラブとなり奨学生を受け入れています。

当クラブの創設からの累計寄付金額は29,224,000円(2022年12月31日現在)となっております。今後も引き続き、米山記念奨学金事業に、世話クラブとして参加していただけるよう、会員の皆様のご理解ご協力お願いいたします。

**第7回クラブ協議会 委員会活動中間報告 2**

司会・進行 山口憲生会長

米山記念奨学会委員会 古川英希 委員長



今年度も昨年、一昨年に引続き、世話クラブとして米山奨学生を受け入れております。奨学生は、茨城大学工学部修士課程(電気システム工学科)に在籍する、マレーシア出身のムハマド ハニフ ビン ラムリさんです。

2022-23年度の1月末までの主な活動は下記の通りです。

1. 4月17日 2022年度米山記念奨学会オリエンテーション参加。
2. 4月23日 当クラブ45周年記念式典に前年度の奨学生マブンさんとともに招待し、参加いただく。(初顔合わせ)
3. 8月4日 大野ガバナー公式訪問記念例会に参加いただき、ガバナーより奨学金を手渡ししていただく。
4. 8月28日 米山記念奨学会合同セミナーに ZOOM にて参加。
5. 9月17日 ハニフさん、地区主催による日本文化体験研修として、大相撲秋場所観戦。
6. 10月13日 米山月間においてハニフさんより卓話『私の故郷』をいただく。
7. 10月17日 準世話クラブである日立中央 RC の例会において卓話。
8. 10月20日 ハニフさん、地区主催による日本文化体験研修として、笠間稲荷神社訪問。
9. 1月28日 第1分区インターシティーミーティングに参加予定

寄付金・募金現状報告

普通寄付 (35名) 目標金額 87,500円

中間実績 87,500円

特別寄付 (22名) 目標金額 700,000円

中間実績 610,000円

出席・会場委員会

山口彰二 委員長



活動中間報告発表

親睦活動委員会

今野紀仁 委員長



活動中間報告発表



**プログラム委員会**

**鋤柄純忠 委員長**



昨年 7 月から始まったプログラムも早、半年が過ぎました。この間ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。年間計画を立てて実施予定していますが、何せ生身の人間のことでございます。ご本人の健康状態、職場の事情、ご家庭の事情など不確定要素に満ち溢れています。

それにも拘わらずほぼ予定通りに例会が開催されていることは奇跡的とも申せましょう。今後もしろいろな状況が出てくるとは思いますが皆様のご協力を得て実のあるプログラムが実行されることを願っています。この間の例会では外部卓話をお願いした講師に対して、時間不足など失礼なことがありました。内部だけの例会なら問題ないと思いますが、外部卓話の場合は時間の配分を十分考慮されるように会場監督をお願いしたいと思いません。今後も外部卓話を 2 月と 3 月に予定していきたく思います。残り半期ますますのご協力をお願い申し上げます。

**会報雑誌委員会**

**神山靖基 委員長**



会報の発行は、各種行事や卓話の原稿を寄せて頂く皆様と事務局の中野さんのご尽力によって滞りなく発行できています。改めて御礼申し上げます。また、毎回の編集後記についてクラブ管理運営委員長をはじめ、皆様から「毎回楽しみにしている」といった言葉を頂き委員会メンバー同大変嬉しく感じています。一方今年度の地区スローガンにちなんだ“My enjoy life”の原稿募集については、アピール不足もあり投稿がありません。引き続き募集していますので是非宜しくお願い致します。

**奉仕プロジェクト委員会**

**佐藤邦裕 委員長**



活動中間報告発表

**職業奉仕委員会**

**木村昌永 委員長**



活動中間報告発表

**社会奉仕委員会**

**照沼明美 委員長**



子どもフードパントリーの企画に夏休みと冬休みの 2 回、皆さんから、お米、ラーメン、お菓子などたくさん寄付をいただき、社会福祉協議会に届けて参りました。子どもたちのお腹が満たされ、心が癒されたら嬉しいです。日立港まつり花火大会は 3 万円の助成金をお支払いしました。しいの木学園主催の寄せ植えプランターの希望を取りました。障害のある方が心を込め話しかけて育ててくれた綺麗なお花が定期便で届きます。

令和 5 年 1 月 7 日 (土)、ひたち郷土かるた大会が開催されました。子どもたちは一年かけて練習し大会に参加しておりました。子どもたちのやる気満々な姿を見て元気をいただきました。引き続きよろしくお願い致します。

**青少年奉仕委員会**

**山口彰二 委員長**



活動中間報告発表

**インターアクト委員会**

**太田秀夫 委員長**



**1. 活動方針**

第 2820 地区戦略計画及びインターアクト委員会方針を踏まえ、関連委員会との緊密な連携を図りながら、近隣地区の青少年のための奉仕活動を展開します。特に今年度は、茨城キリスト教学園高等学校がインターアクト年次大会の幹事クラブになっているため、同校インターアクトクラブ関係者との緊密な連携と当クラブの全員協力のもと、若者の健全な成長を期待し、夢を与えられるような大会の実現に努めます。

**2. 中間報告**

コロナ渦の中で一部制約があったが、年次大会を中心に第 2820 地区インターアクト委員会が計画する主なイベントに積極的に参加している。

①青少年奉仕研究会

2022 年 7 月 24 日 ⇒ 実施済み

②第 25 回インターアクト年次大会 2022 年 8 月 21 日 主 催：日立港ロータリークラブ・茨城キリスト教学園高等学校

テーマ：World Peace Begins with Us ～世界の平和は私たちから～

⇒ 盛会の中で実施済み。報告書をデジタル化して大会経費のコストダウンを図った。年次大会の中でウクライナ募金を行い、また登録証収入の残金を含め67747円を茨城キリスト教大学国際交流センターに寄付した。

3.海外研修旅行（インターアクター、顧問教諭参加）は実施可否未定⇒今年度は実施困難

4.地区委員のクラブ訪問⇒年次大会にて実施済み

5.第 2820 地区・地区大会出席（代表校）

⇒ コロナ渦の中で地区大会への出席は見合わせた

4.その他の広報活動、拡大活動等

⇒ 年次大会報告書をデジタル化して地区と当クラブのホームページに掲載

5.RYLA セミナー ⇒ 3月11～12日に実施予定

3. 予算と中間実績

No.	事業内容(内訳)	予算(円)	中間実績(円)
1	年次大会登録費、クラブ補助	320,000	237,000
2	海外研修旅行参加費(実施可否未定)	300,000	0
3	交流会費・会議費・その他活動費	15,000	20,830
	合計	635,000	257,830

国際奉仕委員会

鈴木 稔 委員長



活動中間報告発表



今週の会場の花

“紫色のスイトピー” 花言葉：永遠の喜び

閉会点鐘 山口憲生 会長

その他のお知らせ・連絡事項

★★ 行事の申込受付案内 ★★

◆ 日立港 RC 杯第 21 回中学校野球大会

2月25日(土) 久慈・泉丘中学校グラウンド

26日(日) 日立市民運動公園野球場

◆ 第 1 分区「茨城海岸美化プロジェクト」

3月5日(日) 久慈浜海水浴場 集合10時

◆ 日立港 RC 杯第 9 回中学校女子バスケットボール大会

3月19日(日) 久慈中学校体育館

今後のスケジュールのご案内

2月16日(木)夜間例会 18:00～

「会員一言卓話 山口憲生会長」

2月23日(木) 休会(天皇誕生日)

3月2日(木)例会 12:30～ 美かの

「日立市企業局下水道部 依頼中」

3月9日(木)例会 12:30～ 美かの

「会員卓話 桑名智行 さん」

「私と RC 島田洋次 さん」

3月16日(木)例会 12:30～ 美かの

「会員卓話 宮田秀昇 さん」

「私と RC 松橋好徳 さん」

編集後記

昨年12月、人間ドッグで指摘された糖尿病の疑いについて、当クラブの会員より市内の x x 病院の診察を勧められ受診した。医師の診断は即治療要とのことで投薬が始まった。その際、医師より合併症の話があり、以前から認識していたとはいえ恐怖を感じた。最近同級生が脳梗塞、心筋梗塞になった事もあり、今更ではあるが自分としては衝撃であった。それから、毎週日曜日には大みか体育館から風神山へウォーキング(結構シンドイです)会社のエレベータ使用自粛、家での晩酌中断の3つの対策を徹底した。それから2ヶ月が経ち10キロの減量に成功。次回の定期検診が少し楽しみになった。先日の例会で会長挨拶、委員会報告、私の RC と共通して健康についての話があったが、体の変化には即対応することが大切。故アントニオ猪木さんの名言「元気があれば何でもできる」を強く感じる今日この頃である。(ひ)

発行：日立港ロータリークラブ(翌例会日)

編集：会報・雑誌委員会

神山靖基 木村昌永 五来美奈

平田伸一 中野紀子(事務局)

URL: <http://www.hitachi-ko-rc.com>

E-mail: [info@hitachi-ko-rc.com](mailto:info@hitachi-ko-rc.com)